

各論

第1章 生涯生きがいを持って活躍できる 社会づくりの推進

1 地域活動への参画促進

- (1) 老人クラブ活動への参加促進
- (2) ボランティア・NPO活動等への参加促進

2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

- (1) 生涯学習の推進
- (2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

3 就業の促進

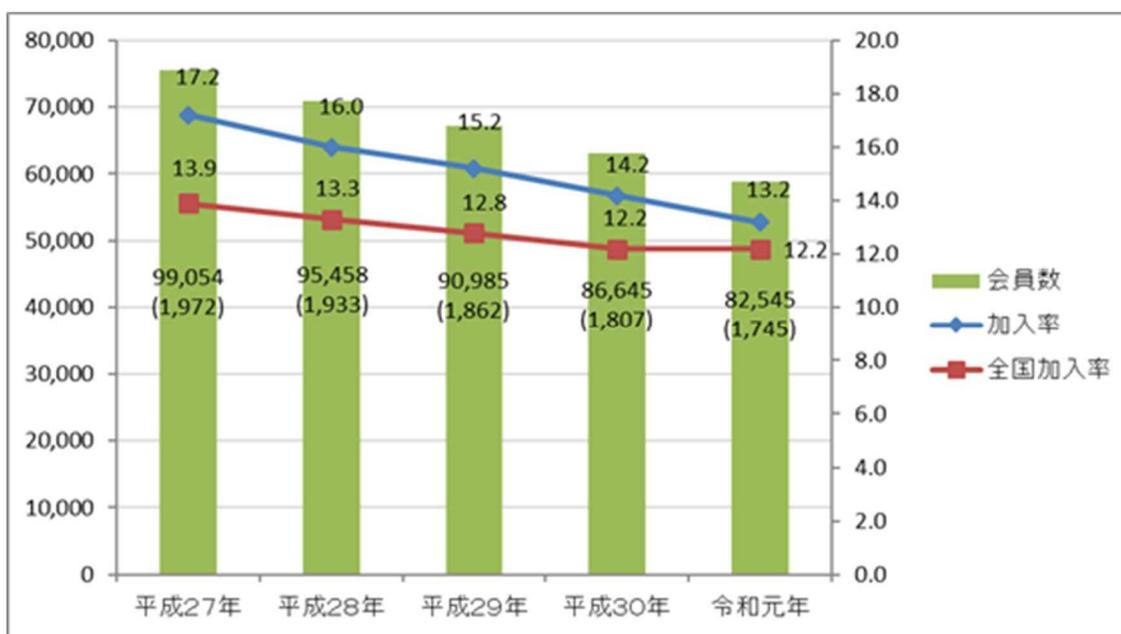
1 地域活動への参画促進

(1) 老人クラブ活動への参加促進

■現状と課題

- ① 地域を基盤とする自主的な組織である老人クラブでは、体操、趣味活動など日々の生活を豊かにする活動や、友愛訪問、子育て支援など地域を豊かにする活動を行っています。今後、高齢化の更なる進展が見込まれる中、高齢者を主体とする介護予防と相互の生活支援の観点からその活動及び役割はますます期待されており、引き続き、こうした活動を推進していく必要があります。
- ② 一方で、令和元年度末の県内の老人クラブ数及び会員数は、1,442クラブ、58,850人であり、クラブ数、会員数ともに減少傾向が続いています。
60歳以上人口に占める老人クラブ加入率は13.2%となっており、県下の老人クラブでは、会員増強に取り組んでおり、こうした取組への支援が必要です。

[図1-1] 老人クラブ会員数と加入率 (%)



注) 1. 厚生労働省「福祉行政報告例」に基づき計算
2. () 書きは老人クラブ数

[表1-1] 老人クラブ加入率全国順位

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加入率(大分県)	17.2	16.0	15.2	14.2	13.2
加入率(全国)	13.9	13.3	12.8	12.2	—
全国順位	20	22	22	22	—

■ 施策の方向

- ① 老人クラブにおける高齢者自らの生きがいを高め健康づくりを進める活動やボランティア活動をはじめとした地域を豊かにする各種活動を支援します。
- ② 県・市町村老人クラブ連合会が行う加入率向上に向けた啓発広報活動等の老人クラブの活動促進や介護予防・健康づくり、地域の支え合い等に資する取組を支援します。
- ③ 市町村老人クラブ連合会において各種取組を円滑に実施するための事務局体制強化を支援します。



(老人クラブによる社会奉仕の日の活動：大分市)



(老人クラブによる健康ウォーキング活動：別府市)

■ 目標指標

指標名	単位	令和元(2019)年	令和5(2023)年
		基準値	目標値
老人クラブ加入率全国順位	位	22	16

1 地域活動への参画促進

(2) ボランティア・NPO活動等への参加促進

■現状と課題

- ① 人口減少社会の進行や県民ニーズ、価値観の多様化、地域コミュニティ機能の低下などを踏まえ、ボランティアやNPO（NPO法人・任意団体）の活躍が期待されており、保健・医療・福祉、まちづくり、社会教育など、多様な分野で約470の特定非営利活動法人（NPO法人）が活動しています。
- ② 地域の課題を自ら解決しようとする県民や優れた経験・技術を持った高齢者等が、その意欲や技術をボランティアやNPO活動に活かすことは、社会貢献とともに、本人の「生きがい」や「喜び」につながります。
- ③ 県内で活動するNPOのうち、63.6%の団体が、人材が不足していると感じており、特に活動者が求められています。（平成30年大分県NPO団体等の活動支援に関する調査）。

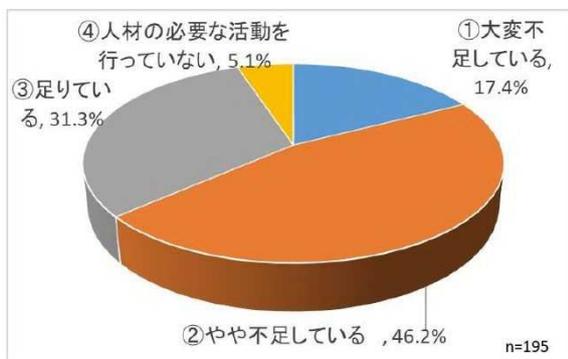
[表1-2] 大分県内NPO法人の活動分野上位（複数選択）

（令和2年9月末現在）

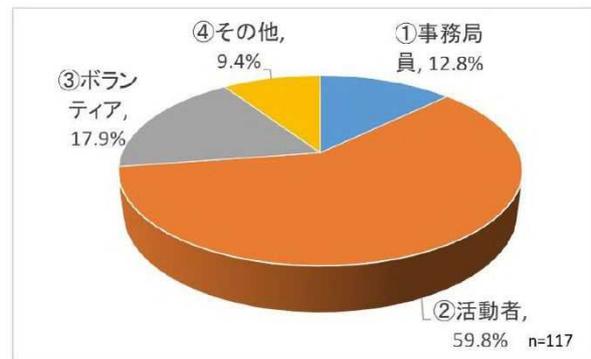
区分	1位	2位	3位	4位	5位
活動分野	保健・医療・福祉	まちづくり	社会教育	NPOの連絡助言援助	こどもの健全育成
NPO数	285	280	264	262	256

[図1-2] 大分県内NPOの人材の不足について

（平成30年大分県NPO団体等の活動支援に関する調査）



人材の不足について



不足している人材の種類

■施策の方向

- ① NPO、企業、行政などをつなぎお互いの連携が図れるような環境づくりに努めるとともにNPO活動や協働事例などの情報提供を充実することにより、県民の理解を深め、ボランティア・NPO活動への参加を促します。
- ② 高齢者等が豊富な経験や技能を活かし、地域の支え手となれるよう、ボランティア・NPO活動への参加促進や活動に対する支援など、地域活動に主体的に取り組める仕組みづくりを促進します。
例えば、市町村や市町村社会福祉協議会等と連携して、高齢者等がボランティアやNPO活動等へ参画するための講座を開催するなど、ニーズ（地域の課題）とシーズ（ボランティア希望者）が円滑にマッチングするような仕組みを構築します。
- ③ 高齢者も積極的にボランティア・NPO活動に参加できるよう、おおいたNPO情報バンク「おんぼ」等を通じてボランティアやNPOに関する情報提供を行います。

■目標指標

指標名	単位	令和元(2019)年	令和5(2023)年
		基準値	目標値
65歳以上の高齢者のボランティア登録数	人	20,140	20,700

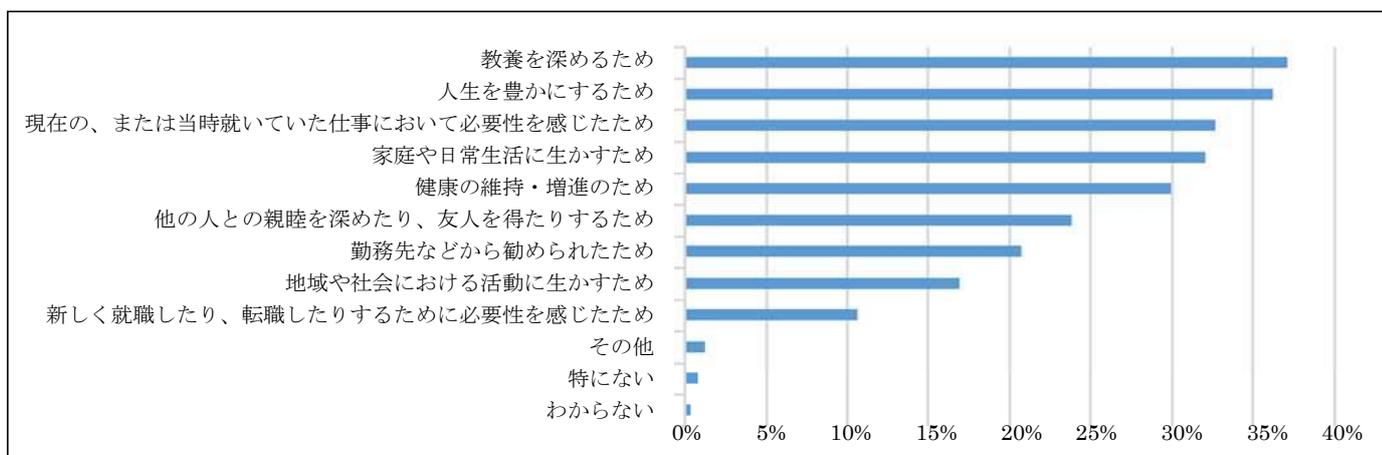
2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

(1) 生涯学習の推進

■現状と課題

- ① 生涯学習^{※1}・社会教育^{※2}は、地域住民同士が学びあい、教えあう相互学習などを通じて、教養の向上や健康の増進等を図り、人と人の絆を形成する役割を果たしてきました。社会を生き抜く力の養成や、絆づくりと活力あるコミュニティの形成等を進める上で、生涯学習・社会教育が果たす役割は重要となっており、高齢者にとって生きがいのある豊かな人生につながるものです。
- ② 高齢者へ多様な学習機会を提供できるよう、県や市町村、大学、NPO、民間事業者等が幅広く連携する必要があります。また、公民館や図書館、博物館などの生涯学習関連施設の充実や指導者の養成、情報提供体制の整備等、学びの環境の充実を図ることも求められます。
- ③ 生涯学習の推進にあたっては、本人の学習が個人的な満足感にとどまることなく、その学習成果が学校や地域社会に生かされるようにすることが大切です。

「図1-3」学習をした理由（複数回答可）



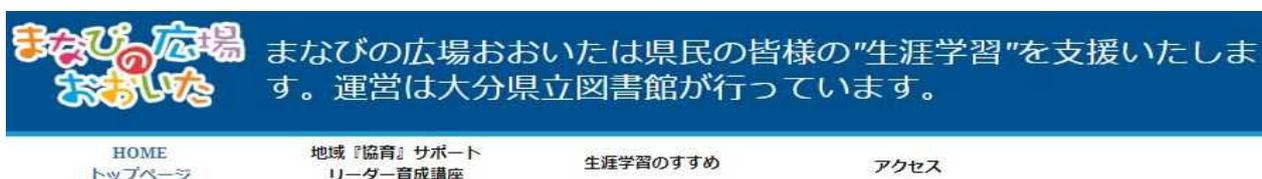
内閣府「生涯学習に関する世論調査」（平成30年度）



(高齢者の小学生チャレンジ教室への参加)

■施策の方向

- ① 学習機会を提供する様々な機関、事業者等と幅広く連携した講座・セミナーの開催とともに、県立図書館では課題解決のためのレファレンス^{※3}を行い、今日的課題に関する学習プログラムの作成及び指導者研修を実施するなど、高齢者の生涯学習を総合的に推進します。
- ② 生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」^{※4}を通じて、講座等学習機会に関する情報を幅広く提供することにより、高齢者をはじめとする多くの方の受講を促進し、地域活動やボランティア等で活躍する地域人材を育成します。
- ③ 地域活動やまちづくりをはじめ、子どもの学習活動や体験活動等へ的高齢者の参加を促進するなど、学習成果を生かせる場の充実を図ります。



(生涯学習情報提供システム「まなびの広場おおいた」サイト)

■目標指標

指標名	単位	令和元(2019)年	令和5年(2023)年
		基準値(目標値)	目標値
生涯学習情報提供システムのインターネット講座アクセス数	件	38,968 (38,000)	40,400

- ※1. 生涯学習：人が生涯を通じて行うあらゆる学習(学校教育・社会教育・文化活動・スポーツ・趣味など)
2. 社会教育：学校教育として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーションの活動を含む)
3. レファレンス：仕事や日常生活、研究する上で何か調べものをする利用者に、図書館員が必要な資料や情報を入手するお手伝いをするサービス
4. 「まなびの広場おおいた」：県民の多様な学習ニーズに応えるため、インターネットを利用した学習に関する講座、学習機会、施設などの情報を提供するシステム

2 スポーツ・芸術・文化の機会確保

(2) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

■現状と課題

- ① 身近な地域で日常的な運動・スポーツ活動の場を提供する「総合型地域スポーツクラブ」は地域の実情に応じた活動を展開しているが、人材の発掘・育成や財源確保、認知度の向上等が課題です。
- ② 男性及び女性とも健康寿命が平均寿命を10歳程度下回っており、スポーツを通じて健康でいきいきとした高齢者を増やす取組が必要です。
- ③ 日頃の運動・スポーツ活動の成果を発表する機会を確保するため、「豊の国ねんりんピック」や「県民すこやかスポーツ祭」種目別大会数の増加や参加人数の増加に向けた取組が必要です。

[表1-3] 総合型地域スポーツクラブの会員数

区分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
総会員数(人)	16,866	16,872	17,089	17,509	16,134
60歳以上の会員数(人)	6,084	6,258	6,704	6,823	6,531
60歳以上の割合(%)	36.1	37.1	39.2	39.0	40.5

(注) スポーツ庁調査(各年度7月1日現在)

■施策の方向

- ① 総合型クラブ経営者・指導者の育成等を通じて、身近な地域で継続的にスポーツに親しめるよう、クラブの質的充実を支援するとともに、クラブへの加入を促進します。
- ② 高齢者のニーズに対応したスポーツ活動が身近な地域で日常的に行えるよう、関係団体や総合型クラブ等と連携する中で、スポーツイベントや健康教室等を開催し、高齢者のスポーツ参加機会の充実を図ります。
- ③ 高齢者を中心とした健康と福祉の祭典である「豊の国ねんりんピック」の実施内容の充実、子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの祭典である「県民すこやかスポーツ祭」等の各種スポーツイベントへの積極的な参加の促進など、日頃のスポーツ活動の成果を発表する機会を確保するとともに、世代を超えた交流を図ります。

■ 目標指標

指標名	単位	令和元(2019)年	令和5(2023)年
		基準値	目標値
豊の国ねんりんピック (スポーツ・文化) 参加者数	人	5,624	5,650

3 就業の促進

■現状と課題

- ① 少子高齢化の進展に伴い、生産年齢人口の減少が進む中、高齢者がその豊かな知識や経験を生かし、生涯現役で働き続けることができるよう就業環境を整備することが必要です。
- ② そのためには、多様な形態による雇用・就業を促進するとともに、高齢者の雇用・就業に対し総合的な支援を行っていくことが重要です。
- ③ 県では、国との雇用施策の一体的実施事業として「大分県中高年齢者就業支援センター」を運営し、40歳以上の中高年齢者を対象に、職業相談、職業紹介やキャリアコンサルティングなどの就職支援をワンストップで行っています。今後は、潜在的求職者の掘り起こしを行い、求人事業所とのマッチングの促進を図る必要があります。
- ④ また、現在、高齢者のライフスタイルに合わせた臨時的、短期的、軽易な仕事を提供するシルバー人材センターが県内に14か所設置され、14市2町の高齢者が活用しています。今後は、会員の拡大や仕事の受注量の確保、会員に対する研修などの充実を図る必要があります。

[図1-4] 高齢者の就業希望状況



総務省「就業構造基本調査」(平成29年)

[表1-4] 大分県中高年齢者就業支援センター業務取扱状況

	①初来所者数	②リピーター数	③紹介件数	④就職件数	⑤就職率 (④/①)
平成28年度	1,671	4,401	2,485	717	42.9%
平成29年度	1,291	3,185	1,826	594	46.0%
平成30年度	1,255	3,037	2,125	648	51.6%
令和元年度	1,138	3,059	1,972	601	52.8%

[表1-5] シルバー人材センターの状況（令和2年3月31日現在）

シルバー人材センター名	会員数	就業実人員		就業延人員		
		請負・委任	派遣	請負・委任	派遣	
		(単位:人)				
(公社)大分市シルバー人材センター	1,625	1,104	313	112,457	39,348	
(公社)別府市シルバー人材センター	469	394	29	51,731	2,588	
(公社)中津市シルバー人材センター	460	319	39	34,061	4,895	
(公社)日田市シルバー人材センター	213	181	48	18,037	2,633	
(公社)佐伯市シルバー人材センター	426	331	59	29,163	5,250	
(公社)臼津地域シルバー人材センター	402	325	55	36,741	5,759	
(公社)宇佐市シルバー人材センター	431	308	94	27,320	8,041	
(公社)豊肥地域シルバー人材センター	444	372	47	31,966	4,575	
(公社)国東市シルバー人材センター	221	210	44	15,764	2,107	
(公社)豊後高田市シルバー人材センター	166	107	11	13,160	1,394	
(公社)由布市シルバー人材センター	213	160	41	10,697	3,731	
(一社)杵築市シルバー人材センター	134	116	1	14,789	5	
(一社)日出町シルバー人材センター	112	75	31	5,857	3,360	
(一社)玖珠町シルバー人材センター	114	97	1	6,441	2	
計	5,430	4,099	813	408,184	83,688	
前年度比	実数	66	△ 75	57	△ 8,001	18362
	伸び率	1.01	0.98	1.08	0.98	1.28

■施策の方向

- ① 生涯現役社会の実現に向けて、高齢者の活躍の機会を拡大し、その能力を存分に発揮できるよう、就職支援の強化や地域の多様なニーズに対する就労環境の整備を推進します。
- ② 大分県シニア雇用推進協議会（高年齢者雇用安定法第35条に基づく協議会、事務局：県）において、高齢者を対象とした合同企業説明会やセミナーの開催など、地域の特性を活かした創意工夫のある高齢者の雇用機会の確保を目的とした事業を行い、潜在的な高齢求職者を掘り起こし、マッチングを進めるとともに、大分県中高年齢者就業支援センターやハローワークの活用を促進します。
- ③ 高齢者が長年培った知識・経験・技能を活かし、働くことを通じて生きがいを得て、地域社会の活性化に貢献できるよう、県内のシルバー人材センターの会員の拡大や仕事の受注量の確保に向けた広報・啓発活動を推進します。
- ④ 高齢化の進展に伴う福祉分野の労働力不足を補うとともに、高齢者の持つ能力や経験を生かした福祉分野への参入を推進するため、大分県シルバー人材センター連合会による県内シルバー人材センターの会員等を対象とした介護職員初任者研修などの福祉分野に係る講習会等の実施を支援します。

